

ほっとHealth (日健セ) 通信

日立健康管理センタより 産業保健の話題をお届けします



2025
7月号

【「おっこ」をあなたでなかれ】

臨床検査技師 石井雄一

「おっこ」は、全身をめぐる血液が腎臓でろ過されたもので、体内でおきた様々な変化を知る手掛かりとなります。針をさすなどの負担もなく、重要な情報が得られるため、健診や医療に欠かせない検査です。

尿検査は【尿定性(ようにいせい)検査】と【尿沈渣(ようにんさ)検査】の大きく2つに分けられます。

【尿定性検査】は試験紙を用いて、蛋白質、血液、糖が含まれているかを調べる検査です。蛋白質は腎臓の病気、血液は膀胱がんや尿路結石、腎臓の病気、糖は糖尿病、などが疑われます。

【尿沈渣検査】は主に顕微鏡で細胞、細菌、血液成分を観察するもので、がん細胞や細菌・カビ、出血などが発見されることがあります。さらに赤血球の形、円柱と呼ばれる病的な成分などを観察することで、腎臓の病気であるか膀胱の病気であるかを推測できます。

蛋白質、血液、糖は、過度な疲労などにより正常人でも検出されることがありますが、大きな病気が隠れている可能性があるため、**精密検査を勧められた場合は、必ず医療機関を受診しましょう！**

「おっこ」をあなたでなかれです！！

Q&A

尿検査のおっこはどれくらい採ればいいのか？



(日健セ)では、尿コップに印刷された25ccのラインまで尿があれば十分な検査ができます。量が少なくても、検査できる場合がありますので、担当者にお声かけください。



健診・保健指導などの健康情報はこちら

日立健康管理センタ HP

<https://www.hitachi.co.jp/hospital/nikkense/>



人間ドックは『日立健康管理センタ』をご利用ください

次回は 8月初旬頃に記事をお届けします